

音楽科学習指導案

令和4年10月 第3学年 指導者 金井 美季

1 題材名 音の重なりをかんじて合わせよう

教材名 歌おう声高く (花岡 恵 作詞/長谷部匡俊 作曲)
「アルルの女」第1組曲から かね (ビゼー作曲)

2 題材観 (省略)

3 児童の実態及び指導方針 (省略)

4 研究との関わり (省略)

5 題材の目標

- (1) 旋律の重なりや特徴、フレーズなどと曲想との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った歌唱表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。
(知識及び技能)
- (2) 旋律の重なりや特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、旋律の反復やその重なりが生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲の特徴を捉えて表現や鑑賞する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習に取り組み、旋律の反復や重なりに親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

6 題材の評価規準

- (1) 知識・技能
 - ① 曲想やその変化と、旋律の重なりや反復との関わりについて気付いている。
 - ② 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。
- (2) 思考・判断・表現
 - ① 旋律、フレーズ、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの間わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
 - ② 旋律、フレーズ、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの間わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。
- (3) 主体的に学習に取り組む態度
 - ① 曲の特徴を捉えて表現や鑑賞をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

7 指導と評価の計画（全3時間）

過程	時間	ねらい ○学習活動 ☆ ICT活用	知	思	態	◇評価項目<方法（観点）> 〔記〕：記録に残す評価
つかむ	1	<p>●「歌おう声高く」の特徴を、可視化したり、身体表現したりする活動を通して旋律の重なりや反復について理解できるようにする。</p> <p>○「歌おう声高く」を聴き、発見カードに自由に感想を書く。</p> <p>○反復する旋律を手拍子したり、ハンドベルで鳴らしたりする。</p> <p>○主な旋律を手拍子して、旋律の特徴を捉える。</p>	○		↓	<p>◇曲想やその変化と、旋律の重なりや反復との関わりについて気付いている。<ワークシート(知①)〔記〕></p>
<p>[題材の学習課題（題材を貫く問い）] 音の重なりを楽しみながら歌ったり聴いたりしよう。</p>						
追求する	2	<p>●「歌おう声高く」の曲の特徴を捉えた表現を工夫して歌うことができるようにする。</p> <p>○反復する旋律を歌う。</p> <p>○主な旋律を歌う。</p> <p>○主な旋律と反復する旋律を合わせて歌う。</p>	○	○	↓	<p>◇思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 <聴取(知②)〔記〕></p> <p>◇旋律、フレーズ、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 <観察(思①)〔記〕></p>
まとめ	3 本時	<p>●旋律、音の重なり、反復に着目して聴く活動を通して、曲想と音楽の構造に気付いたり、演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いたりすることができるようにする。</p>	○	○	○	
<p>[本時の学習課題]（めあて） せんりつのとくちょうや、曲のおもしろい所を見つけよう。</p>						
		<p>○「かね」を聴き、発見カードに自由に感想を書く。</p> <p>○三つの音が反復されていることを確かめる。</p> <p>○ア イ アの三つの部分からできて</p>				<p>◇曲想やその変化と、旋律の重なりや反復との関わりについて気付いている。<発言(知①)〔記〕></p> <p>◇旋律、フレーズ、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさ</p>

	<p>いることを確かめ、それぞれどんな場面か考え発表する。</p> <p>○題材の振り返りをする（☆）。</p>			<p>や面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p><ワークシート・発言(思②) [記]></p> <p>></p> <p>◇曲の特徴を捉えて表現や鑑賞をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。<観察(態①) [記]></p>
--	--	--	--	---

8 本時の展開（3/3時間目）

(1) ねらい

旋律、音の重なり、反復に着目して聴く活動を通して、曲想と音楽の構造に気付いたり、演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いたりすることができるようにする。

(2) 準備

教師：教科書・鑑賞用CD・鑑賞用DVD・ハンドベル 児童：教科書・筆箱・ワークシート

(3) 展開

時間	○学習活動 ・想定する児童の意識 ☆ ICT活用	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ●努力を要する児童への支援 ◇評価項目<方法(観点)>
導入 10分	<p>1 学習に臨む雰囲気をつくる。</p> <p>○前時に学習した「歌おう声高く」を歌う。</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○「かね」を聴き、気付いたことを発見カードに自由に書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当にかねのような音がする。 ・「歌おう声高く」と似ている音がする。 ・かねの音が途中からなくなる。 ・最後の辺りでかねの音がする。 ・色々な楽器の音がする。 ・明るい所となめらかな所がある。 	<p>○旋律の重なりの特徴を確認するために、主な旋律と反復する旋律を、音楽に合わせて動きを付けながら歌う。</p> <p>○反復する三つの音を確認するために、ハンドベルを使い演奏する。</p> <p>●手の高さを変えて音の高さを表現することで、音程を取ることが苦手な児童にも三つの音の反復に気付けるようにする。</p> <p>○曲の特徴に気付かせるために、教科書は開かずに聴く。</p> <p>◎聴き取ったことと、感じ取ったこととの関わりについて考えるきっかけとなるように、発見カードに初発の感想を自由に記入させる。</p>

<p>[本時の学習課題] (めあて)</p> <p>せんりつのとくちょうや、曲のおもしろい所を見つけよう。</p>	
<p>展開 15分</p> <p>①</p>	<p>3 音楽の雰囲気を感じ取り、雰囲気が醸し出す理由を探りながら鑑賞する。</p> <p>○鑑賞用CDを聴き、アの部分の特徴を探り、気付いたことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三つの音の反復が「歌おう声高く」と似ている。 ・三つのかねのような音が反復していて、なめらかな音が重なっている。 <p>○鑑賞用CDを聴き、イの部分の特徴を探り、気付いたことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かねの音がなくなり、なめらかな旋律である。 ・イの終わりの部分で、ゆっくりとかねの音がする。
<p>展開 15分</p> <p>②</p>	<p>4 通して曲を鑑賞し、曲の雰囲気全体を味わって聴く。</p> <p>○鑑賞用DVDで、演奏している様子を通して鑑賞する(☆)。</p> <p>○感じたことをワークシートに書く。</p> <p>○ペアで書いた内容を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アの部分は、かねの三つの音が反復していて、なめらかな主な旋律が重なっている。 ・イの部分は、かねの音がない。終わりの所で、ゆっくりとしてかねの音がしてくる。 ・反復する音は、ホルンの優しい音色で吹いている。 ・イの終わりの部分は、アと同じくホルンの音がする。

ま と め 5 分	<p>5 学習のまとめをし、題材の学びを振り返る。</p> <p>○重なり方に着目をして聴き、感じたことをワークシートに記入して、ペアで共有する。</p> <p>○書いたことをクラス全体で共有する。</p> <p>○学んだことをどのように生かしたいかを含め、題材全体を振り返る。</p>	<p>○学んだことをどのように生かしたいかを含め、題材全体の振り返りをさせる。</p> <p>●板書を見ることで、それぞれの特徴を振り返りやすくする。</p> <p>○書いたことを基に、本時のまとめにつなげていく。</p> <p>◇曲の特徴を捉えて表現や鑑賞をする活動に興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p><観察(態①) [記] ></p>
<p>アのせんりつは、三つのかねの音ははんぷくされている。イのせんりつは、かねの音がなく、なめらかなせんりつである。はんぷくする音にちがうせんりつが重なるとおもしろい。</p>		
<p>旋律の重なり方にはいろいろな形があって、音が重なるといいひびきになる。はんぷくがある曲は、おもしろい。これからも音の重なりを見付けながら歌ったり聴いたりしたい。</p>		

(4) 板書計画

